



けんせつ

じょうしょう

# 上小

2018

## 第28号

[平成30年]

CONSTRUCTION JOSHO

長野県建設業協会上小支部広報誌  
2019年(平成31年)3月1日発行

### 創造・喜び・実感産業

## Tsunami, Karaoke, これからはBousai



### 目次

■ 支部長挨拶 .....	2
長野県建設業協会上小支部 支部長 柳沢昌美	
■ 支部活動報告①育成事業 .....	3～5
上田千曲高校建築科へ教材贈呈	
丸子修学館高校 7社が建設業の魅力の説明	
上田千曲高校 千曲市新庁舎と	
上田市神川統合保育園現場見学会	
丸子修学館高校で丁張技術指導	
丸子修学館高生2年生が職場体験	
■ 支部活動報告② .....	6
上田建、技士会と実務者研修会	
県現地機関と意見交換会	

■ 支部活動報告③ .....	7
第23回 上小中学校一年生野球大会	
■ 支部活動報告④ .....	8
道と川の駅「安全・安心イベント2018」	
■ 支部活動報告⑤ .....	9
ハツ場ダム建設事業を見学	
■ 『けんせつ女子』が今、輝いている!! .....	10～11
■ 長野県建設業協会上小支部の仲間たち .....	12～13
■ 支部活動報告⑥ .....	14
自主パトロール 7現場で安全チェック	
建災防上小分会と年末安全パトロール	
編集後記	





支部長挨拶

## 「けんせつ上小」第28号 発刊にあたって

長野県建設業協会上小支部  
支部長 柳沢 昌美

平成30年度通常総会におきまして、第18代上小支部長並びに事業協同組合理事長に新任致しました柳沢でございます。今後とも皆様とともに業界発展のため努力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、平成30年は1月23日草津白根山の噴火による噴石落下の驚異から始まりました。2月には北陸地方が大雪による被害を受け、4月には大分県の土砂災害。地震については、5月に長野県北部、7月に大阪府北部、10月には北海道胆振東部地震に見舞われ、尊い命が失われました。心よりご冥福をお祈り申し上げるとともに、ご遺族の皆様にも謹んでお悔やみ申し上げます。

上小地域でも7月、8月には記録的大雨に見舞われ、床下浸水や土砂崩れによる通行止め、ダウンバーストによる倒木などの災害がありました。我々建設業界も地域の安全確保、ライフラインの確保など“地域の皆様の安心・安全を守る”ため災害復旧活動に取り組んでまいりました。

また、本年5月には新元号となります。この上小支部も昭和元年に長野県請負同業組合の支部として発足し、平成の苦しい時代を経て新しい時代を迎えようとしています。この「けんせつ上小」第28号は、次の時代を担う若い技術者、技能者の皆様の育成するための支援活動の様子や、業界での女性の皆様の活動状況、日々の安全を守るための活動などの取り組みをご紹介します。

是非ご一読いただき建設業に興味を持っていただければ幸いです。

これからも皆様のご理解とご協力をいただきながら、建設業の健全な発展を目指し、活動して参る所存でございます。

最後になりますが、支部並びに事業協同組合の発展と、皆様のご健康とご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

# 上田千曲高校建築科へ教材贈呈 大工検定用の鉋や木材など



今年1月に実施された建築大工の技能検定を受験する上田千曲高校（松沢武人校長）の生徒に、練習で使ってもらおうと、23人分の木材と鉋（かな）2丁を12月5日に贈呈しました。

11月8日に行われた同校との懇談会のなかで、生徒が技能検定の準備をしていることを知り何か応援できないかと実現したものです。

柳沢支部長は「今、建設業界では会社側が勤務時間の見直しや休日の確保といった改善を進めています。生徒さんたちが学校で技術を習得して来てもらえるのは大変ありがたいこと。これを契機に、高校側とより親密な関係を築いて、建設業への入職促進に向けてお互い考えていきたい」と期待を込めて話しました。

松沢校長は目録を受け取り「応援していただいて大変嬉しい。これからも確かな技能・専門性を身に付けた生徒を育てていきます」と、笑顔で謝意を伝えていました。

## 5社が企業説明

当日は、会員企業から5社が参加して1年生と2年生を対象にした企業説明会を行いました。生徒さんに建設業の仕事を知ってもらおう

と、パワーポイントやパンフレットを使って仕事の内容や自社の魅力をアピールしました。

建築科の土屋先生によると「上小地域は製造業が盛んで建築科に限らず卒業生が製造業に流れる傾向ですが、高校側としてもそれを食い止めたい思いです」と話しました。





## 丸子修学館高校 7社が建設業の魅力を説明

4月16日に丸子修学館高校で企業説明会を行いました。将来、地元の建設会社に入社して地域づくりの一翼を担ってほしい—そんな思いから今年度から実施しました。

説明会は、7社の担当者が、4～6時限の150分を使って、工業科目を選択する3年生の生徒25人に「建設業の魅力」や「当社はこんな仕事を手掛けた」など、それぞれ説明をしました。

工業科担当の伊藤先生によると「建設業では若手が不足していると事あるごとに聞きます。製造業を希望する生徒が多く、少しでも建設業の理解につなげたい」と話しました。「建設業に絞った企業説明会の開催を」と同校から打診をされて実現したもので、こうした取り組みを通して新しい人材の確保につなげていきたいと考えています。



## 上田千曲高校 千曲市新庁舎と上田市神川統合保育園現場見学会

上田千曲高校建築科の3年生41人が5月25日、建設中の千曲市の新庁舎や上田市神川の統合保育園・地区公民館の現場を見学しました。次世代を担う高校生の建設業への入職支援の一環として、当支部と上田建設事務所が毎年開催しているものです。

生徒は千曲市の新庁舎建設工場の現場事務所で、鹿島建設の松浦所長から工事概要やスケジュールなどについて説明を受けた後、現場に赴いて更埴体育館と合わせて見学しました。

「免震工事に使うゴムはいくらしますか」との生徒の質問に、松浦所長が「大きさや形状など様々ですが、数百万円します」と答えると皆、驚いた様子でした。

神川統合保育園・地区公民館の現場では、本体工事を担当する北澤土建の現場代理人、大塚洋明さんと同校卒業生で工事主任を務める滝澤聖也さんが案内。女子生徒が「女性はいますか」と質問すると、大塚さんは「はい。女性用のトイレも増えてきています。安心してこの業界に入ってきてください」と話していました。



千曲市の新庁舎建設現場



上田市の神川統合保育園・地区公民館の現場



## やり形の測設 プロが伝授 丸子修学館高校で丁張実習

5月28日に丸子修学館高校で丁張技術指導を行いました。今回で18回目となり、代人部会員を中心に会員企業14社から19人の技術者が講師として参加しました。工業科を選択する3年生25人は座学と実技を通して土木工事の基本となる丁張のかけ方を学びました。

開講式では代人部会長の中島哲雄さん(東部開発)があいさつ。「建設業は社会にとって大事な、なくてはならない産業。人々が快適に生活するためだけでなく、災害時に被害を軽減したり素早く復旧するノウハウを持つ、やりがいがあり誇れる仕事」と魅力を伝え、「今日の実習を十分楽しんでください」と話しました。

座学では掘削や盛土工事を行う際の法面の傾きや法肩、法尻の位置の計算方法を講義。実技では、実際に「やり形」の測設作業に挑戦し、講師のアドバイスを参考にしながら生徒達は協力して杭を打ち、ぬき板を設置、基準面の水平を測る作業に取り組みました。統括責任者の氏原亮さん(羽田組)は講評で「私語なく、真剣に取り組んでいた。若い人たちに建設業に少しでも興味を持ってもらいたい」と話していました。



## 丸子修学館高生が企業研修 職場体験に2年生21人

10月10日に丸子修学館高校の2年生が会員企業の現場で研修を行いました。インターンシップを通して建設業の魅力をPRしようと毎年取り組んでいます。土木工事の7現場に15人、建築工事の3現場に6人が参加し、軽作業などを体験しました。

東部開発が手掛ける鹿曲川(東御市本下之城)の公共土木施設災害復旧工事では根固めブロックのヤードで、コンクリートを打設する際に行う「空気抜き作業」をしました。

東部開発の高橋勇美彦さんが生徒に「建設業に就職したいですか」と尋ねると「入りたいです。小さいころからの憧れでした」と答え、高橋さんは「地図に残る仕事で、現場も管理も楽しい。ぜひ来てほしい」と話しました。

宮下組の上田市役所南庁舎耐震改修工事では、現場の見学や駐車場のバリケード設置作業を実際に行いました。「今まで見ることでできない現場を実際に見ることができて勉強になりました」と感想を話していました。

関磨子先生は、今年の2年生について「建設業を志望している生徒が今年は多く、初めて女子で建築業への就職希望者もいます。実際に仕事を行えるのは貴重な体験。大変ありがたい」と話していました。





## 県現地機関と意見交換会 入札制度や働き方改革

県の現地機関との意見交換会を8月7日に開催し、入札制度や技術等の諸問題について一問一答形式で質疑応答をしました。

柳沢支部長が議事に先立つ挨拶のなかで、「管内建設事務所分の全県下に占める契約額の割合が一昨年度の6%から昨年度は5%に下がっている。企業の安定経営のためにも予算額、発注量を確保していただきたい」と要望すると、上田建設事務所の荻野所長は「事業費比率の増に向け、種を撒いて努力している。実を結ぶのをお待ちいただきたい」と理解を求めました。当日は発注者、受注者あわせて約40人が参加しました。

失格基準価格について「上限値92.5%から95%にアップを」との声に、県側は「昨年度、県工事の平均落札率は92.7%で前年度並みだったが、改善実感がなく賃金への影響も出ているとのこと。引き続き要望を上げていきたい」と回答。また、「規模や金額が大型の工事は複数工区に分割発注してほしい」との要望には、「施工規模等を考慮し、複数工区または年度別に分離することが可能な場合は検討していく」と回答をいただきました。

「プレミアム・サタデーが達成できない。施工単価や工期などについて県の方向性は？」との質問には「今年度より施工者希望型週休二日工事を導入し、週休二日を前提に工期設定している。認められれば間接工事費の補正もある。さらに国で労務費を見直す動向もあり、取り組みをお願いしたい」と回答。「竣工検査日に積雪で現場の確認ができない場合は？」との質問には「100%の出来高であれば先に確認できるので、発注者と協議をして下さい」と促していました。



## 実務者研修会と意見交換会を開催 上田建、技士会と合同で

11月19日に上田建設事務所と当支部と技士会上小支部との実務者による「研修会と意見交換会」を開催しました。NPO土木環境しなの技術支援センター理事の塩入信一氏による「工事現場の安全管理、施工管理、工程管理」の講演を聞き、その後グループに分かれて意見交換会を行いました。

講演では、塩入氏は安全管理について「一生懸命になると現場の危険に気付きにくくなる。会社のほかの人の視点が必要」と説明し、PDC Aサイクルとトップマネジメントとの「複眼」が大事と話しました。現場の問題や課題については「マニュアル化しきれない部分はどうしても残る。そこで試行錯誤することで企業の伸びる力が養われる」と呼び掛けました。

意見交換会は、担い手確保・育成、公共工事の品質確保、青年部からの提言について意見を出し合いました。

女性が現場代理人の現場では若い技術者や外国人とのコミュニケーションが活発で、人員を継続的に確保できている。ある会社では書類専門の職を試みているところもあるなどの事例が報告されました。





# 建設旗・ロータリー杯争奪 第23回 上小中学校一年生野球大会



## 丸子中・上田第一中の合同チームが優勝

上小地域の中学校野球部生徒が競い合う「建設旗・ロータリー杯争奪上小中学校一年生野球大会」を11月10日と11日の2日間の日程で、丸子総合グラウンドなどで開催しました。

この大会は、当支部が主催し、青少年の健全育成と野球レベルの向上、親睦を目的として毎年この時期に行っている行事で、今回13校が参加。9チームを編成してリーグ戦方式で競い合いました。1日目の予選リーグは総当たり戦で行い、2日目の決勝リーグを勝ち抜いた丸子中・上田

第一中の合同チームが見事優勝し、2位は東部中、3位は丸子北中という結果になりました。

今大会で野球部顧問の先生方が野球人口の増加に向け、各地区小学校や少年野球チームに観戦を呼びかけました。

この大会は丸子ロータリークラブとの共催です。ほかに、上田市軟式野球連盟と上小地区中体連軟式野球専門部の方々の協力をいただきました

選手の皆さん、お疲れ様でした！



# 道と川の駅「安全・安心イベント2018」 高所作業車に親子で試乗

## 雨模様でも500人超が体験



「上田道と川の駅おとぎの里」(半過)で9月8日に「安全・安心イベント2018」が開催されました。当支部は、上田市防災支援協会、上田建設事務所、新建新聞社とともに、高所作業車の試乗やパネル展示を通して建設業の魅力をPRしました。

当日は朝から雨がちの天気だったにも関わらず、2台の高所作業車の前には長い列ができ、500人以上が乗車しました。徐々に上がっていく作業台から手を振ったり、声を上げるなどの

姿が見られました。

昼食時には炊き出し訓練を想定して女性部会のメンバーが豚汁を訪れた皆さんに振る舞うと、皆さん「温まる～」と喜んでいました。

このイベントは国土交通省北陸地方整備局や関東地方整備局、自衛隊、県警上田警察署、上田地域広域消防本部も参加し、参加者は各ブースを回り、スタンプラリーを通して災害への知識を深めながら、イベントを楽しんでいました。





# ハツ場ダム建設事業を見学 一大プロジェクトに注目



群馬県長野原町で工事が進むハツ場(やんば)ダム建設事業の現場見学会を6月18日に開催しました。

国土交通省関東地方整備局ハツ場ダム工事事務所が進める国を挙げての一大プロジェクトでもあり、その様子を目見ようと大勢が参加しました。工事を進める清水建設・鉄建・IHI異工種建設工事共同企業体の仁瓶統括本部長から事業の進捗状況やダムの建設目的などについて説明いただきました。

このダムは、洪水調節、新規都市用水の供給、流水の正常な機能の維持、発電を目的として平

成27年1月から本体工事に着手し、31年度の完成を目指しています。重力式コンクリートダムで、堤高は116m、堤頂長は290.8m、総貯水容量は1億750万 $m^3$ 、湛水面積は約3 $km^2$ です。

5月末にダムのコンクリート打設が約7割までの高さには達し、幅が狭くなってきたため、SP-TOMやダンプトラック、ブルドーザー、振動ローラーなど多くの機械で行っていた「巡航RC工法」から、少ない機械で一度に大きな範囲を打設できる「拡張レヤ工法」に6月から変更して打設作業を進めているとのことでした。



# 『けんせつ女子』が今、輝いている!!

当支部では、会員企業に勤める女性たちと『女性部会』を結成し、さまざまな活動をしています！今年度の私たちの活動をご覧ください♪

## 7月 July 『女性部会誕生 第1回ランチミーティング』

“女性ならではの発想と感覚で建設業界を盛り上げよう”という大きなテーマを掲げ「女性部会」を結成。建設業で働く女性たちが集まって、情報交換・交流の場を設けました。



会議では平野部会長のもと、今後の活動内容を話し合い、その後のランチミーティングでは女性ができる仕事とは、建設業における女性の強みとは何かを語り合いました。意見交換をしながらのランチタイムになり、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



## 9月 September 『安全・安心イベント2018』

上田道と川の駅おとぎの里で「安全・安心イベント2018」が開催され、私たちもスタッフとしてお手伝いしました。

当日は高所作業車2台が出動。500人以上の親子連れが試乗し、大盛況でした！また、実際現場にも置かれている熱中症対策用の飴を子どもたちに配り、体験を通して防災意識を広めることができました。正午には「炊き出し訓練」の一環として、とん汁の無料配布も開始。当日は午前中雨の影響で肌寒かったため、暖かいとん汁は大人気でした！

イベントを通して、地域の住民の皆さまと交流の場を持つことができ、私たちも広報活動だけでなく災害時の心構えを意識するきっかけにもなり、とても勉強になりました。



道と川の駅で開催しました！



子どもに飴をプレゼント♪



高所作業車体験の様子  
子どもたちは空からの眺めに  
大喜び！



とん汁は皆さんに大人気！



私たちがお手伝いしました♪



当日は500人も試乗して下さいました！  
みなさん楽しそうでした♪  
女性部会の皆さんもお疲れ様でした。



10月 October

『第2回ランチミーティング&自主パトロール』

11月 November

『年末安全パトロール』

女性部会として安全パトロールに参加しました。男性技術者を中心にパトロールを行っていましたが、女性ならではの目線で現場での危険箇所をより細かいところまで見つけ、重大な事故を防ごうという試みです。女性技術者が現場で活躍している姿を見て、今後の建設業界の新たな可能性を感じました。



上小支部のロゴ入りジャケットで出動！



工事看板の内容もしっかりチェック！



パトロール後は全員で現場状況の報告会をしました

安全第一！



## 女子会のお弁当日記

女性部会ではランチミーティングで近況報告をしながら楽しんでます♪たまにこんな集まりがあると話が弾みます♪

今回ご紹介するのは( ^ω^ )・・・上田市鷹匠町にある【美酒工房倉升】さん！酒屋さんのお洒落ランチが楽しめるお店。店内でランチができます。

次のランチミーティングが待ち遠しいです(笑)



季節の野菜がたっぷり!!!  
豊富な品数で美味♡

〒386-0012  
上田市中央1-6-26  
TEL 0268(27)3131

## 女性部会広報委員会



Member	明美【平野建設株】		
会長: 平野	由香【東部開発株】	綿貫 夕起【株宮下組】	
会員: 伊東	彩香【株創恒】	金井 のぞみ【株創恒】	
	粕尾 優希【株春原】	小岩井 知子【新建新聞社】	

初めての女性部会の広報の紙面づくり。大勢が集まり、いろいろな意見が出ました。自分一人だけでは気づくことのなかった発見があり、ワクワクの集まりでした。女性部全員のランチミーティングあり、男性会員の皆さんと一緒にのパトロールありの、長野県一の女性部会です！

会長 平野 明美



# 長野県建設業協会

## 博 建設業 青木建設工業株式会社

クレームゼロの仕事を心掛けています。

代表取締役社長 青木 英友

上田市上丸子1706  
TEL.0268-42-3127 FAX.0268-42-3708



「常に誠実であれ！」をモットーに  
「技術」と「品質」で地域の明日を創造します。

## 音 株式会社 栗木組

代表取締役社長 栗木 悦郎

上田市長瀬3918  
TEL.0268-34-7666 FAX.0268-35-3433



特定建設業

## 要 有限会社 岩下組

代表取締役 岩下 通孝

小県郡青木村大字村松1721  
TEL.0268-49-2023 FAX.0268-49-2774



## SUNOHARA 地球修理工の感動産業 春原建設株式会社

建設・環境・人材育成事業を通じて地域の発展を願い  
地域と行政の橋渡しをする……

(事業内容)  
土木・建築・ほ装・上下水道・造園・解体(各種設計施工)  
介護職員育成事業 (マスターカレッジ住吉校)  
太陽光発電事業・水環境事業 etc ……

“困ったら”…まずは電話  
TEL.0268-22-7018 FAX.0268-27-4094



法令を遵守し施工致します

## 勝 株式会社 金井組

代表取締役 金井 洋

小県郡長和町大門119  
TEL.0268-68-2137代 FAX.0268-68-2677



## 総合建設業 株式会社 田中工務店

代表取締役 田中 和好

上田市中之条445-9  
TEL. 0268-22-7166  
FAX. 0268-27-0168

## 光 金井建設株式会社

代表取締役 金井 穂奈美

上田市御嶽堂803-1  
TEL.0268-42-2041 FAX.0268-42-6409

## 千曲建設工業株式会社



上田市諏訪形973-1  
TEL. 0268-22-3835  
E-mail : info@chikumakk.co.jp  
http://www.chikumakk.co.jp



自然に囲まれたこの環境を私達の手で大切に守りたい。  
後世に残る品質と信頼を目指して…

## KITAZAWA 北澤土建株式会社



ISO9001認証所得

本社 長野県上田市武石沖471-1  
TEL.0268-85-2039代 FAX.0268-85-3394  
URL : http://www.kitazawadoken.co.jp  
E-mail : master@kitazawadoken.co.jp  
東御支店 TEL.0268-62-1674



## TOBUKAIHATSU

確かな技術・誠意ある施工  
地域からさらに信頼される会社を目指して!!

## 東部開発株式会社

代表取締役社長 柳沢 昌美

〒389-0506 長野県東御市柵津1304  
TEL.0268-62-0480 FAX.0268-64-3848  
E-mail : info@tobu-kaihatsu.jp



“HYGGE”な居心地のいい時間や空間づくり



## 窪田建設株式会社

President Director  
窪田 秀徳 URL:www.ie-kubota.jp  
mail: kubota@n-h-n.com

☎386-1213 長野県上田市古安曾1116  
TEL.0268-38-3050代 FAX.0268-38-8099(NORWAY HOUSE GALLERY)



## HATA 株式会社 羽田組



代表取締役社長 佐藤 公明

小県郡長和町和田1540-1  
TEL.0268-88-2012 FAX.0268-88-2774



## 株式会社 倉島組

代表取締役 倉島 卓司

上田市上丸子1385  
TEL 0268-75-7078 FAX.0268-75-7079

## 平野建設株式会社

代表取締役 平野 仁一

上田市諏訪形1178-1  
TEL.0268-27-3345 FAX.0268-25-3598



# 上小支部の仲間たち

平成30年12月現在

<p> <b>有限会社 深井組</b></p> <p>代表取締役 深井 伸一</p> <p>上田市東内411-4 TEL.0268-42-2053 FAX.0268-42-7117</p>	<p> <b>竹花工業株式会社</b> 田中支店</p> <p>取締役副社長田中支店長 山浦 友二</p> <p>東御市東518 TEL.0268-62-0144 FAX.0268-62-1119</p> 
<p>大正3年創業 誠意と信用と技術で地域社会に貢献する</p> <p> <b>株式会社 宮嘉組</b></p> <p>代表取締役社長 宮島 聖二</p> <p>上田市蒼久保1416-1 TEL.0268-35-0032(代) FAX.0268-35-0086</p>	<p>"地域に根差し、地域と共に歩む。お客様の笑顔と信頼を得る"ことを大切にしています。</p> <p> <b>株式会社 小幡</b></p> <p>代表取締役 小幡 晃大</p> <p>〒386-0014 上田市材木町1丁目9-15 <a href="http://www.obt.co.jp">http://www.obt.co.jp</a> TEL.0268-28-1877 FAX.0268-22-8590</p> 
<p>未来を建てる。それが私たちの使命です。</p> <p> <b>株式会社 宮下組</b></p> <p>代表取締役社長 石塚 博敏</p> <p>〒386-0017 長野県上田市踏入二丁目1番17号 TEL.0268-22-0271(代) FAX.0268-25-6123</p> 	<p>建設業</p> <p><b>池田株式会社</b> TEL.0268-72-2251 FAX.0268-72-2245</p> <p>上田市真田町長7166-2 代表取締役 池田 豊文</p> <p>元祖 やきとり 備長炭焼</p> <p><b>千串屋</b></p> <p>TEL.0268-71-0357 FAX.0268-71-0358</p> 
<p>明治15年創業</p> <p> <b>柳屋建設株式会社</b></p> <p>代表取締役 小河原 嘉彦</p> <p>上田市中央 2-13-17 TEL.0268-24-3220</p> 	<p>夢を形に 楽しい住まい造りグループ</p> <p>建築・土木請負</p> <p> <b>株式会社 永井建設</b></p> <p>代表取締役 永井 大輔</p> <p>上田市五加254番地 TEL.0268-38-2336(代) FAX.0268-38-8194</p>
<p><b>株式会社 創恒</b></p> <p>代表取締役 金井 利亀</p> <p>上田市古安曾1593-1 TEL.0268-39-2888 FAX.0268-39-2889</p>	<p>豊かな郷土づくりに貢献する</p> <p> <b>木島建設株式会社</b></p> <p>土木・建築・造園・設計施工</p> <p>〒386-2201 上田市真田町長6116-1 TEL.0268-72-2267 FAX.0268-72-4160</p> 
<p><b>株式会社 小山産業</b></p> <p>代表取締役 小山 俊夫</p> <p>小県郡長和町和田1485番地1 TEL 0268-88-2045 FAX 0268-88-2035</p> 	<p> <b>株式会社 堀内建設</b></p> <p>周辺環境に配慮した土木工事を提供します 技術力と信頼で地域へ貢献します</p> <p>代表取締役 金森 潤哉</p> <p>TEL.0268-75-8468 FAX.0268-75-8469</p> 
<p> <b>三共テック株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 柳澤 政幸</p> <p>〒386-0002 上田市住吉370-1 TEL.0268-23-1842 FAX.0268-27-0909</p> 	<p>MATSUI 技術・品質・サービスを地域の皆様へ!!</p> <p> <b>株式会社 松井建設</b></p> <p>代表取締役 松井 智哉</p> <p>長野県上田市武石小沢根215-1 TEL.0268-85-2709 FAX.0268-85-2409</p> 



## 7現場で安全チェック 10月16日 自主パトロール

10月16日に自主パトロールを実施し、支部会員と女性部会員を含め約20人が参加。5班に分かれて、土木と建築の計7現場をパトロールしました。

現在、耐震補強工事中の上田市役所南庁舎の現場では、頻発する台風により足場を覆うネットが飛ばされないよう講じている対策など、担当者の説明を受けながら安全状況を確認しました。

パトロール終了後には報告会を開き、各班の代表者がそれぞれの現場の状況について説明し、参加者全員で確認しました。

山浦労災防止指導員は、講評の中で「安全に近道はない。ダメなことがあればダメと常に言い続けることが大事です」と話し、普段から注意喚起することの重要性を呼び掛けていました。



## 11月29日 年末安全パトロール 建災防上小分会と共催

11月29日、年末に向け安全パトロールを実施しました。約50人が土木4班、建築2班に分かれて管内の工事現場をパトロールしました。女性部会員も、女性目線で危険箇所を確認しました。

パトロール前に柳沢分会長は「寒さや降雪が重なると労働災害が発生しやすい。女性の参加者は女性の目線で現場を見ていただきたい」と参加者に呼び掛け、上田労働基準監督署の中川署長は「路面凍結やスリップによる転倒が増加するシーズン。特に注意を」と促していました。

発注者を代表して上田建設事務所の荻野所長は「毎日の地山や足場の点検、KY(危険予知)活動の徹底をお願いしたい」と話していました。

パトロール後は報告会を開催し、分会員約50人も参加して安全管理や施工管理の良かった点、留意点などを写真を見ながら確認しました。

「タイヤ止めの先に磁石を付けてホイールに固定し、紐が汚れないように創意工夫されていた」「どの現場も大変整理されていてすっきりしていた。こうした状況が無事故無災害につながる」などの報告がありました。



表紙のサブタイトルについて説明します。日本語のままで英語になった言葉がいくつかあります。例えばsake(酒)とか, geta(下駄)とか, harakiri(切腹)などがそうです。サブタイトルのTsunami(津波)、Karaoke(カラオケ)も同じです。

この頃、あるテレビ番組の中で池上彰氏が「今、Bousai(防災)という言葉が英語になりつつある」と解説していました。防災と建設業とは、切っても切れない関係にあります。多くの人達が防災に関心を持ってくれるようになると、国や県の予算面から考えても、建設業にとっては良い方向に向かって行くと思われれます。

ここで英語に関する本当にあった話の一つ。終戦直後、ある看護婦養成学校で時間割を作ることになり、アメリカから看護学校の時間割を取り寄せました。その科目の中にEnglishとあったので、「英語」と訳しましたが、これのどこが可笑しいか分かりますか?それは、この場合、アメリカの学校ではなく、日本の学校なので、Englishは「国語」と訳さなければいけなかったのです。(H)

ここで英語に関する本当にあった話の一つ。終戦直後、ある看護婦養成学校で時間割を作ることになり、アメリカから看護学校の時間割を取り寄せました。その科目の中にEnglishとあったので、「英語」と訳しましたが、これのどこが可笑しいか分かりますか?それは、この場合、アメリカの学校ではなく、日本の学校なので、Englishは「国語」と訳さなければいけなかったのです。(H)

発行所 上小建設事業協同組合  
TEL 0268-24-8133 FAX 0268-27-1425  
<http://jousho-k.jp/>

発行責任者 柳 沢 昌 美  
編集責任者 平 野 仁 一  
制 作 新 建 新 聞 社